

●博士課程前期課程

神戸大学のカリキュラム・ポリシーに基づき、経済学研究科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 経済学の高度な専門性を体系的に身につけるために、基礎的な知識・能力の習得をめざす必修科目から始め、一層高度な専門科目の履修へと進み、さらに学位論文を作成する段階的カリキュラムとする。
2. 高度に論理的・数理的に思考する能力を身につけるために基礎理論系科目および数量分析系科目を開設する。
3. 社会において生じている事象を高次のレベルで的確に分析し、その事象を解明できる能力を身につけるために応用系分野別科目を開設する。
4. 高次のレベルで分析、解明したことを総合し、的確に表現できる能力と創造性を身につけるために演習・特殊研究等を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングなどを適宜組み合わせて行う。

学修成果の評価は、学修目標に即して多角的、包括的な方法で行う。

●博士課程後期課程

神戸大学のカリキュラム・ポリシーに基づき、経済学研究科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 自立して研究を行う能力を身につけ、高度の専門性に基づく学位論文を作成することを目指して、特定教員による個別指導を中心としたカリキュラムとする。
2. 論理的・数理的に思考する能力および社会事象を最も高次のレベルで分析・解明して新たな知見を明らかにできる能力を身につけるために、特定教員による指導を受ける演習と関連分野の教員から指導を受ける特殊研究とを開設する。
3. 高次のレベルで分析・解明したことを総合し、独自の知見としての的確に表現できる能力を身につけるため、公開セミナーを実施し、報告を義務づける。

なお、これらのカリキュラムは、アクティブラーニングなどを適宜組み合わせて行う。

学修成果の評価は、学修目標に即して多角的、包括的な方法で行う。

経済学研究科カリキュラムマップ

		博士課程前期課程 1年次		博士課程前期課程 2年次		
		前期	後期	前期	後期	
論理的・数理的に 思考する能力 * : 基礎的な知識・能力	(後期課程 非進学者)	*基礎ミクロ経済学 *基礎計量経済学 *経済数学 *Microeconomics *Macroeconomics	*基礎マクロ経済学 産業連関分析 (Input Output Analysis) *Econometrics	ミクロ経済学IA・IB 計量経済学A マイクロデータ分析	マクロ経済学IA・IB 計量経済学B 応用時系列分析	博士課程後期課程 1~3年次 演習 特殊研究 博士論文公開セミナー 六甲フォーラム
	(後期課程 進学希望者)	*ミクロ経済学IA・IB *ミクロ経済学I演習 *計量経済学A *経済数学	*マクロ経済学IA・IB *マクロ経済学演習I演習 *計量経済学B 産業連関分析 (Input Output Analysis)	マクロ経済学II *マイクロデータ分析 Analysis of Stationary Time Series	ミクロ経済学II 応用時系列分析 Analysis of Nonstationary Time Series	
分析を総合し、表現する能力		演習	演習 特殊研究 ELSセミナー	演習 特殊研究	演習 特殊研究 修士論文公開セミナー	
		Academic Writing	Academic Reading	Business Writing	Seminar for Economics Studies	英語論文作成演習
社会的事象を分析・解明する能力		欧州統合史 日本金融史 現代技術論 (Economics of Innovation) 環境経済論 (Environmental Economics) 環境政策 (Environmental Policy)	産業組織論 労働経済学 農業政策 社会政策 財政学 (Public Finance) 公共経済学 (Public Economics)	ファイナンス 国際金融論 金融経済論 (Monetary Economics) 金融システム論 応用国際経済学 I・II・III 国際貿易論 (International Trade)	国際マクロ経済学 (International Macroeconomics) インド経済論 中国経済論 ロシア・東欧経済論 日本経済論 テンアメリカ経済論	空間経済学 Topics in European Economy エコノリーガル概論 その他適宜開講科目